

病原微生物検出情報

月報

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>

EHEC の血清型と毒素型 2001 & 2002 年 3, 2002 年に分離された EHEC O157 の PFGE 型 4, 保育園における EHEC O157 集団感染事例: 福岡市 4, 徳島県 5, 小学校で発生した EHEC O157 集団感染事例: 栃木県 6, 公衆浴場を感染源としたレジオネラ症死亡例: 石川県 7, アデノウイルスによる渗出性扁桃炎: 兵庫県 8, 病原性の高いトリインフルエンザによる死亡例: オランダ 9, 世界のヒトベスト: WHO 9, ブルーリ潰瘍 9, SARS 累積「可能性例」報告数 WHO10

Vol.24 No.6 (No.280)

2003年6月発行

国立感染症研究所
厚生労働省健康局
結核感染症課

事務局 感染研感染症情報センター
〒162-8640 新宿区戸山1-23-1
Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177
E-mail iasr-c@nih.go.jp

(禁) 無断転載

本誌に掲載された統計資料は、1)「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく感染症発生動向調査によって報告された、患者発生および病原体検出に関するデータ、2) 感染症に関する前記以外のデータに由来する。データは次の諸機関の協力により提供された: 保健所, 地方衛生研究所, 厚生労働省食品保健部, 検疫所, 感染性腸炎研究会。

<特集> 腸管出血性大腸菌感染症 2003年5月現在

腸管出血性大腸菌 (EHEC) による感染症は、1999年4月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」にもとづく感染症発生動向調査において、全数把握の3類感染症となった。

現在、diffuse outbreak (広域発生) を迅速に探知する方法の一つとして、パルスフィールド・ゲル電気泳動法 (PFGE) に基づいた菌株解析情報と疫学情報を組み合わせたサーベイランスシステム (パルスネットジャパン) が試行中である。さらに、米国 CDC が運営しているパルスネットを拡大させる計画が進められており、EHEC を含めた感染症の迅速な探知に国際的な規模で対応できる体制が構築されようとしている。

患者発生動向: 2002年には EHEC 感染症患者および無症状病原体保有者 (以下 EHEC 感染者) が3,185例報告された (表1)。週別報告数は第16週 (4/15~21),

第21週 (5/20~26), 第26週 (6/24~30) に後述の集団発生や広域発生 (次ページ表3参照) による小さなピークを示し、夏季の第33週 (8/12~18) を最大ピークとしてその後減少した (図1)。2002年の都道府県別発生状況は人口10万人当たり0.60~19.68と地域差がみられた (図2)。複数の集団発生があった佐賀 (19.68), 石川 (9.41), および大規模な集団発生があった栃木 (8.96) が上位3県であった。2002年の EHEC 感染者は0~4歳がもっとも多く、5~9歳がこれに次いだ。0~19歳では男性がわずかに多く、20歳以上では女性が多かった。有症者の割合は男女とも若年層と高齢者で高く (19歳以下で72%, 65歳以上で67%), 30代, 40代, 50代では50%以下であった (図3)。

EHEC 検出報告: 地方衛生研究所 (地研) から国立感染症研究所感染症情報センターに報告された EHEC

表1. 腸管出血性大腸菌感染症届出数

年	期間	報告数
1996	8/6 ~ 12/31	1,287 *
1997	1/1 ~ 12/31	1,941 *
1998	1/1 ~ 12/31	2,077 *
1999	1/1 ~ 3/31	108 *
1999	4/1 ~ 12/31	3,114 **
2000	1/1 ~ 12/31	3,647 **
2001	1/1 ~ 12/31	4,336 **
2002	1/1 ~ 12/31	3,185 **
2003	1/1 ~ 5/25	279 **

患者および無症状病原体保有者を含む

* 厚生省伝染病統計

** 感染症発生動向調査 (2003年5月29日現在報告数)

図1. 腸管出血性大腸菌感染症週別発生状況, 1999年14週~2003年21週 (感染症発生動向調査)

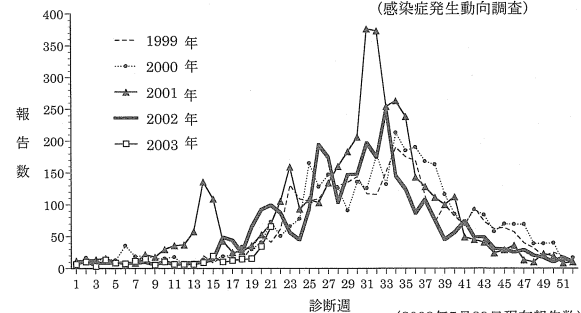


図2. 腸管出血性大腸菌感染症都道府県別発生状況, 1999年~2002年

(感染症発生動向調査)

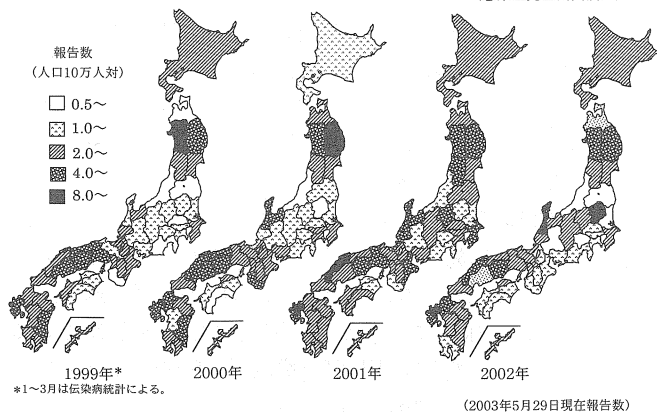
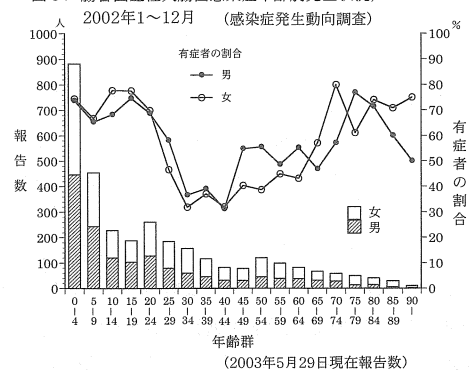


図3. 腸管出血性大腸菌感染症年齢別発生状況, 2002年1~12月

(感染症発生動向調査)



(2ページにつづく)

(特集つづき)

表3. 腸管出血性大腸菌感染症集団発生事例, 2002年

No.	発生地	発生期間	報告された推定伝播経路	発生施設	血清型	毒素型	患者数	摂取者数	菌陽性者数/被検者数	二次感染	IASR参照記事
1	佐賀県*	4.11-5.2	人→人	保育所	O121:H19	VT2	16	...	23/ 163	有	Vol.23, No.6
2	石川県*	4.17-5.1	人→人	幼稚園	O157:H7	VT2	5	...	12/ 303	有	Vol.23, No.7
3	兵庫県等**	4月末-5月中旬	食品媒介 1)	飲食店	O157:H7	VT1&2	30	不明	52/ 不明		
4	佐賀県*	6.18-6.26	不明	保育所	O111:H-	VT1	10	不明	47/ 519	有	Vol.23, No.11
5	福岡市*	6.26-7.26	食品媒介 2)	保育所	O157:H-	VT2	74	162	112/ 542	有	Vol.24, No.4
6	岩手県*	7.2-7.18	不明	小学校	O111:H-	VT1	4	不明	15/ 331	有	Vol.23, No.11
7	札幌市*	7.10-7.31	不明	保育所 4)	O26:H11	VT1	21	不明	54/ 429	有	Vol.23, No.11
8	長野市*	7.22-8.7	不明	小学校	O26:H11	VT1	45	4,301	55/ 11,889	有	Vol.24, No.4
9	宮城県*	7.24-8.5	人→人	保育所 4)	O26:H11	VT1	12	...	21/ 167	有	Vol.23, No.12
10	岩手県*	7月	不明	大学	O26:HNT	VT1	不明	不明	23/ 不明		
11	宇都宮市*	8.2-8.12	食品媒介 3)	病院・老人保健施設	O157:H7	VT1&2	123	876	111/ 1,521	有	Vol.23, No.12
12	姫路市*	8.12-8.20	人→人	老人保健施設	O157:H7	VT1&2	不明	...	13/ 274		Vol.23, No.12
13	佐賀県*	8.13-9.4	人→人	保育所	O26:HUT	VT1	6	...	10/ 111	有	Vol.23, No.11
14	堺市*	8.14-9.6	不明	保育所 4)	O26:H11	VT1	13	不明	23/ 153	有	Vol.23, No.12
15	佐賀県*	8.15-8.19	人→人	保育所	O157:H7	VT2	6	...	10/ 152	有	Vol.23, No.11
16	石川県*	9.12-9.26	人→人	保育所	O157:H7	VT1&2	18	...	36/ 607	有	Vol.23, No.12
17	栃木県*	9.24-9.24	不明	小学校	O157:H7	VT2	5	不明	10/ 666		本号6ページ

菌陽性者(無症状者を含む)10人以上の事例を示す。...人→人伝播と推定されているので該当せず。

* 地方衛生研究所からの「集団発生病原体票」速報(2003年4月25日現在)とIASR参照記事および厚生労働省食品保健部調べによる。

** 兵庫県等関西地区2府4県で発生(Jpn. J. Infect. Dis., Vol. 55, p. 91-92, 2002および国立感染症研究所細菌第一部パルスネットによる)

1) 焼肉チェーン店および食肉センター保存牛肉から菌を分離(Jpn. J. Infect. Dis., Vol. 55, p. 91-92, 2002)

2) キュウリの浅漬けから菌を分離、3) 香味和えから菌を分離、4) 簡易プールによる感染が疑われた事例

検出数は1996年に3,022と急増したが、最近では年間2,000前後で推移している(http://idsc.nih.go.jp/prompt/graph-lj.html参照)。EHEC感染者報告数(前ページ表1)と開きがあるが、これは、現在のシステムでは地研以外で検出された菌株情報の一部が地研に届いていないことによる。1991~1995年はO157:H7が分離株の約80%を占めていたが、その後はO26, O111などO157以外の血清型が増加し、2002年にはO157:H7は53%に低下した(本号3ページ参照)。分離菌株が産生している毒素(または保有している毒素遺伝子)の型をみると、O157:H7では2001年にVT1&2が大きく増加し(65%)、2002年もその傾向が続いている(62%)。一方、O26とO111ではVT1単独が多かった。

2002年のEHEC検出例1,601例中19例に溶血性尿毒症候群(HUS)が報告された(表2)。うち、O157が15例(VT1&2が9例, VT2が6例)、その他はO111(VT1&2)が2例, O26(VT1&2)が1例, OUT(VT2)が1例で、すべてVT2陽性であった。O157が検出された1,058例の症状は血便が33%, 下痢50%, 腹痛39%, 発熱13%であった。

広域発生: 2001年には多地域に流通した食品を原因とする大規模な患者の広域発生が報告された(本報Vol. 23, No. 6特集参照)。2002年も4~5月にかけて関西地区の焼肉チェーン店でO157:H7の広域発生があり、患者は2府4県から報告された。この事例では患者と保存牛肉から分離された株のPFGE型が一致した(表3 No. 3)。

集団発生: 2002年に報告された菌陽性者10人以上の事例中(表3)、食品媒介と推定された事例は3件であった。8月に病院・老人保健施設で発生した事例(No. 11)では、患者123例中9例が死亡した。患者および食品から分離されたO157は2001年に広域流行したO157と同一のPFGE型を示した(本号4ページ参照)。

小学校での大規模集団事例は1996年に多発したが(本報Vol. 19, No. 6参照)、1997年以降発生は見

表2. 腸管出血性大腸菌検出例の年齢と臨床症状 2002年

	年齢(歳)						計
	≤1	2~5	6~15	16~39	≥40	不明	
検出例数	134	326	297	388	400	56	1,601
EHEC O157	49	180	173	299	339	18	1,058
HUS	1	7	4	1	2	-	15
血便	17	80	67	74	112	-	350
下痢	35	121	109	140	124	1	530
腹痛	2	74	106	135	95	-	412
発熱	10	34	36	35	23	-	138
無症状	10	37	47	130	171	6	401
記載なし	2	4	5	4	2	10	27
他の血清型	85	146	124	89	61	38	543
HUS	1	3	-	-	-	-	4
血便	13	32	10	10	6	1	72
下痢	48	80	71	24	13	-	236
腹痛	10	37	53	17	9	-	126
発熱	12	12	17	6	2	-	49
無症状	31	59	44	61	45	35	275
記載なし	2	4	1	-	1	2	10

(病原微生物検出情報: 2003年5月8日現在報告数)

れなかった。しかし、2002年には小学校での小規模ないし中規模の集団感染事例が3件報告された。7月に発生した事例(No. 8)では、初発患者周囲のEHEC感染者を漏れなく早期発見するために1万人以上の検査が実施された。

また、2002年も依然として保育所・幼稚園での集団発生が10件と多く、うち3事例では簡易プールでの感染が疑われた。保育所等での人→人感染による集団感染予防には、普段からの職員の手洗い(特にオムツ交換後)、園児への排便後・食事の手洗いの指導を徹底するとともに、夏季にはプールの衛生管理にも注意する必要がある(本号5ページおよびPHLS CDR, Vol. 6, Review No. 2, 1996参照)。

保育所・小学校等の集団発生では施設内感染に留まらず、家族への二次感染が報告される事例が多いのが特徴である(表3)。家族内感染による発生の拡大・長期化を防ぐためには、保護者に対して二次感染予防の指導を徹底する必要がある。

2003年速報: 本年5月25日までに診断されたEHEC感染者届出数は279人(5月29日現在)で(表1)、4月までの発生は少なかったが、5月に入り第20週~21週にかけて徐々に増加し、集団発生も報告されている(前ページ図1)。EHEC感染症が増加する夏場に向けて一層の注意喚起が必要である。

<特集関連資料>

腸管出血性大腸菌の血清型と毒素型, 2001~2002年

(病原微生物検出情報: 2003年5月8日現在報告数)

血清型 Serotype	2001年						2002年					
	VT1	VT2	VT1&2	ND	Total	%	VT1	VT2	VT1&2	ND	Total	%
O157:H7	3	494	945	1	1,443	64.8	6	319	520	-	845	52.8
O157:H-	-	15	37	-	52	2.3	-	13	15	-	28	1.7
O157:HNT	3	43	126	3	175	7.9	1	23	160	1	185	11.6
O157 subtotal	6	552	1,108	4	1,670	75.0	7	355	695	1	1,058	66.1
O26:H11	226	1	17	-	244	11.0	180	-	5	-	185	11.6
O26:H16	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	0.1
O26:H21	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	0.1
O26:H-	105	-	4	-	109	4.9	29	-	1	-	30	1.9
O26:HUT	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	17	1.1
O26:HNT	68	1	1	1	71	3.2	96	-	2	-	98	6.1
O26 subtotal	399	2	22	1	424	19.0	325	-	8	-	333	20.8
O111:H-	17	-	13	-	30	1.3	65	1	11	-	77	4.8
O111:HUT	2	-	-	-	2	0.1	-	-	-	-	-	-
O111:HNT	10	-	4	-	14	0.6	27	-	-	-	27	1.7
O111 subtotal	29	-	17	-	46	2.1	92	1	11	-	104	6.5
O8:H5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	0.1
O8:HNT	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	0.1
O25:H-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	0.1
O28:H20	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	0.1
O55:H7	1	-	-	-	1	0.0	-	-	-	-	-	-
O63:H6	-	3	-	-	3	0.1	-	-	-	-	-	-
O63:HUT	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	0.1
O74:HNT	2	-	-	-	2	0.1	-	-	-	-	-	-
O91:H14	1	-	-	-	1	0.0	-	-	-	-	-	-
O91:H-	2	-	1	-	3	0.1	-	-	1	-	1	0.1
O91:HUT	1	-	-	-	1	0.0	-	-	-	-	-	-
O91:HNT	4	-	-	-	4	0.2	9	-	-	-	9	0.6
O103:H2	6	-	-	-	6	0.3	7	-	-	-	7	0.4
O103:H11	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	0.1
O103:HNT	3	-	-	-	3	0.1	11	-	-	-	11	0.7
O119:HNT	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	0.1
O121:H19	-	5	-	-	5	0.2	-	23	-	-	23	1.4
O121:H-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	0.1
O121:HNT	-	1	-	-	1	0.0	-	7	-	-	7	0.4
O126:H-	1	-	-	-	1	0.0	-	-	-	-	-	-
O128:HNT	-	2	1	-	3	0.1	1	1	-	-	2	0.1
O138:H19	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	5	0.3
O145:H-	1	2	-	-	3	0.1	-	-	-	-	-	-
O161:H2	1	-	-	-	1	0.0	-	-	-	-	-	-
O161:H5	-	1	-	-	1	0.0	-	-	-	-	-	-
O161:H-	1	-	-	-	1	0.0	-	-	-	-	-	-
O165:H-	-	1	-	-	1	0.0	-	2	-	-	2	0.1
O165:HUT	-	1	-	-	1	0.0	-	-	-	-	-	-
O166:HNT	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	0.1
OUT:H2	-	-	1	-	1	0.0	1	-	-	-	1	0.1
OUT:H10	1	-	-	-	1	0.0	-	-	-	-	-	-
OUT:H11	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	0.1
OUT:H19	-	2	1	-	3	0.1	-	1	1	-	2	0.1
OUT:H34	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	0.1
OUT:H42	-	2	-	-	2	0.1	-	-	-	-	-	-
OUT:H45	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	0.1
OUT:H-	6	1	2	-	9	0.4	6	1	4	-	11	0.7
OUT:HAag	1	-	-	-	1	0.0	-	-	-	-	-	-
OUT:HUT	2	1	2	-	5	0.2	-	1	1	-	2	0.1
OUT:HNT	12	2	8	1	23	1.0	3	4	2	1	10	0.6
Others subtotal	46	24	16	1	87	3.9	43	53	9	1	106	6.6
Total	480	578	1,163	6	2,227	100.0	467	409	723	2	1,601	100.0

UT: Untypable, NT: Not typed, ND: No data

Serotypes and VT types of EHEC isolates during 2001-2002

(Infectious Agents Surveillance Report: Data based on the reports received before May 8, 2003)

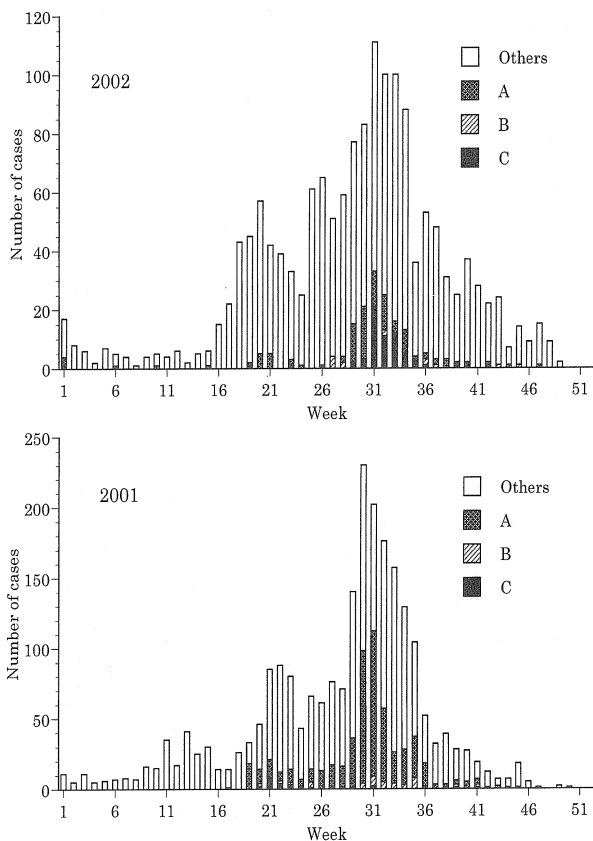
＜特集関連情報＞

2001年に広域流行したものと同一 PFGE タイプの腸管出血性大腸菌 O157

2002年に日本各地の地方衛生研究所等で分離された腸管出血性大腸菌 (EHEC) 菌株について、パルスフィールド・ゲル電気泳動法 (PFGE) による遺伝子型別を中心とした解析を行った。国立感染症研究所・細菌第一部に送付され、解析を行った2002年の O157 分離株は1,588株であった。これらの株のうち、その PFGE パターンが2001年に広域流行した PFGE タイプ (Type A, B, C) (本月報 Vol. 23, No. 6, 139参照) と一致するものが、散発事例および集団事例由来株において検出された (図)。Type A, B, C については、互いにバンド1本の違いを示すに過ぎない類似した PFGE パターンであり、ファージ型もすべて33であった。Type A は調べた株のうち99株 (6.2%) あり、2001年の21%からは減少した。Type B も13株 (0.8%) と減少したが、Type C は68株 (4.2%) あり、2001年から増加した。これらのタイプを示す株は全国27都道府県で分離されていた。

8月上旬に栃木県の病院・老人保健施設で発生した O157 による集団事例 (本月報 Vol. 23, No. 12, 318参照) では、患者および原因食品と推定された「香味あえ」から分離された O157:H7 が Type C であった。Type C を示す株は全国15都道府県で分離されていた

図 Number of PFGE type A, B, C isolates in 2001 and 2002



が、上記の株以外はすべて散発事例由来株であった。

全分離株数に占める頻度は減少したものの、2001年に引き続き同一 PFGE タイプを示す株が広域から分離されたことは、汚染源が広範に存在することを示唆すると考えられるが、現在までに食材等からの菌分離は報告されていない。

国立感染症研究所・細菌第一部
寺嶋 淳 泉谷秀昌 伊豫田 淳
三戸部治郎 田村和満 渡辺治雄

＜特集関連情報＞

「キュウリの浅漬け」が原因と考えられた保育園における腸管出血性大腸菌 O157 集団感染事例——福岡市

2002年6月26日、市内 N 医療機関より腸管出血性大腸菌 (EHEC) O157 の発生届け (保育園児1名) があった。管轄保健所が直ちに調査を開始したところ、園児が通園している保育園に多数の下痢等の有症状園児が見受けられ、集団感染が疑われたことから、全園児および職員の検便が実施された。その結果、終息までの間に総数542名中 (のべ1,540名) 112名 (園児86名, 職員14名, 家族等12名) の菌陽性者をみだ。うち1名は初回検便前日より抗菌薬の内服を開始しており、その後の検便結果でも陰性であったが、溶血性尿毒症症候群 (HUS), 脳症を発症し、ペラ血清で LPS の上昇を認めた例であった。これら陽性者のうち90名は何らかの症状を認め、そのうち20名 (園児19名, 職員1名) が入院加療を要した。11名 (菌陽性者の9.8%, 有症状者の12%) に HUS, 6名 (菌陽性者の5.4%, 有症状者の6.7%) に脳症の合併を認め、脳症合併例は全例 HUS をも合併していた。一次感染者 (園児86名, 職員14名の計100名) の発症日は6月24日に一峰性のピークを認め、園児、職員が短期間に一斉に感染曝露を受けたことが示唆された。

保育園は年齢別に6クラスに分かれており、クラス別陽性者は0歳児クラス:11名中2名 (18%), 1歳児クラス:17名中9名 (53%), 2歳児クラス:24名中9名 (38%), 3歳児クラス:27名中19名 (70%), 4歳児クラス:34名中20名 (59%), 5歳児クラス:32名中27名 (84%) であった。原因を究明するため、発症前日までの9日間の保存食129検体 (調理済み食品59検体, 原材料70検体), 給食施設ふきとり6検体, 園内の使用水, 砂場の砂, 貸しおむつ, ペット等の環境調査および検体採取21検体, 給食室残品121検体, 園が購入した食品の製造業者の製造施設のふきとり等142検体, および製造従業員検便64検体を採取し検査を実施した。その結果、6月21日の園の給食に出された「キュウリの浅漬け」(保存食) から EHEC O157 が分離された。他の食材等からは EHEC O157 を分離することはできなかった。

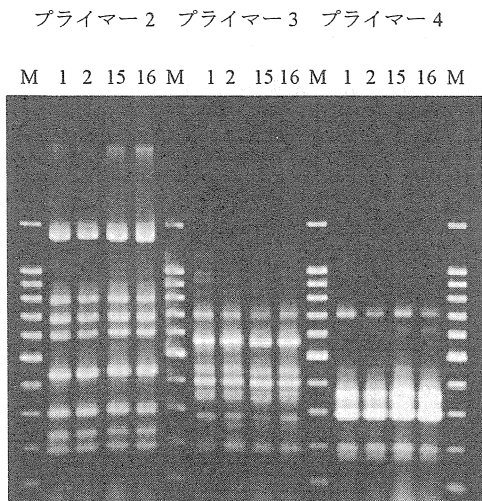


図 1 RAPD 解析
 1, 2: 感染者由来菌株
 15, 16: キュウリの浅漬け由来菌株
 M: 100bp DNA Ladder

7月初旬、原因究明と再発防止を目的に、学識経験者および国立感染症研究所 FETP の実地疫学調査専門官を含めた調査委員会が設置された。調査委員会は防疫・臨床・感染経路の3班が組織され、各班それぞれ活動・検討をすすめた。調査委員会は全体会として3回開催され、総合的な検討を行った。その結果、感染源として6月21日に園で提供された給食の関連が最も強いことが示唆された。

検便検査は TSMaC, CHROMagar での直接分離培養と並行して、マイトマイシン (100mg/ml) を添加した CAYE 培地で37°C18時間振盪培養後、ノバパスベロ毒素 EIA 法 (BIORAD) にて、Vero 毒素の測定を行った。また、菌陽性者の陰性化確認については、TSB で37°C 6時間一次増菌後、CT-MaC プロスで37°C18時間二次増菌後、VIDAS I.C. *E. coli* O157 (bioMerieux) にて免疫濃縮法を実施した。一方、食材等の検査は、食品からの EHEC O157 検出方法に従い実施した。ただし、保存食等 (キュウリの浅漬け含む) の冷凍食品については BPW で37°C18時間一次増菌後、食品からの EHEC O157 検出方法に準じて実施した。

分離された菌株はすべて O157:H- VT2 産生であった。患者分離株のうち14株と「キュウリの浅漬け」から分離された2株の計16株について、12薬剤 (ABPC, KM, GM, SM, TC, CP, TMP, CTX, OFLX, NFLX, NA, FOM) による薬剤感受性試験 (KB 法)、生化学的性状、生物型別 (Khakhria, Beutin), RAPD type (図1), Plasmid type および制限酵素 *Xba*I によるパルスフィールド・ゲル電気泳動 (PFGE) (図2) を行った。薬剤感受性試験はすべての菌株で感受性を示し、他の性状、型別および PFGE はすべて同一パターンを示した。また、これらの菌株の RPLA 価は32,000 倍と一様に高値を示した。数日間冷蔵保存後、「キュウ

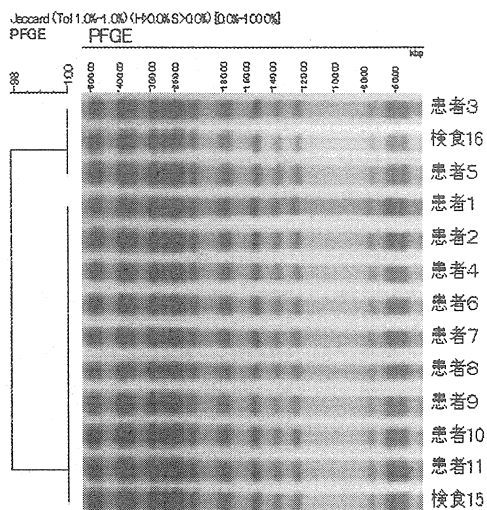


図 2 PFGE 解析 (*Xba* I)
 (検食 15・16 は、キュウリの浅漬け分離株)

ウリの浅漬け」については O157 菌数定量 (MPN 5 本法 + Beads 集菌およびコロニースウィープ→PCR 法の組み合わせ) を実施したが、検出することはできず、冷蔵保管中に死滅したものと考えられた。

本事例は感染の広がり方、発症のパターン、疫学的調査および食材等の検査結果から、「キュウリの浅漬け」を原因とする EHEC O157 集団感染であると推察された。しかしながら、「キュウリの浅漬け」が生産、製造、流通、調理のどの段階でどのように汚染されたかは最終的に究明することはできなかった。

福岡市保健環境研究所保健科学部門 (微生物)

<特集関連情報>

保育所でのプールが感染経路であると疑われた腸管出血性大腸菌 O157 集団感染事例——徳島県

2002年8月、県南部の保育所において簡易プールが感染経路であると疑われる腸管出血性大腸菌 O157:H7 (以下 O157) による集団感染事例があったのでその概要を報告する。

8月23日、M 保育所の園児 A, B の2名から VT2 産生 O157 を検出した旨の届け出が医療機関から保健所にあった。園児 A については、8月14日から下痢、血便が認められ、8月17日に溶血性尿毒症症候群 (HUS) を発症していた。園児 B については、8月16日から下痢、血便が認められたが、8月23日の届け出時には症状はほぼ消失していた (次ページ表1)。

保健所は、M 保育所の聞き取り調査を行うとともに、患者家族、園児、保育所の職員等186検体の検便検査を実施した。また、検食5日分46検体および施設のふきとり検査等75検体についても、逐次検査を行った。その結果、園児5名 (乳児~1歳児組3名, 2歳児

表1. 患者および感染者の状況

症例	推定発症日	臨床症状	届出時	組内訳等
A	8月14日	下痢、血便、HUS	患者	乳児～1歳児
B	8月16日	下痢、血便	患者	2歳児
C	8月17日	水溶性下痢	保菌者	乳児～1歳児
D	8月14日	下痢、血便	保菌者	2歳児
E	8月10日?	下痢?	保菌者	乳児～1歳児
F	—	なし	保菌者	2歳児
G	9月3日	下痢、発熱	患者	乳児～1歳児
H	8月22日	下痢、血便	患者	Bの祖母

表2. M保育所における組別の菌陽性者等の状況

組内訳	児童数	菌陽性者数	保育室	トイレ	利用するプール
乳児～1歳児	17名	4名	2階	2階専用	2階の簡易プール
2歳児	14名	3名	2階	2階専用	2階の簡易プール
3歳児	17名	0名	1階	1階共用	1階の簡易プール
4歳児	15名	0名	1階	1階共用	1階の簡易プール
5歳児	21名	0名	1階	1階専用	1階の簡易プール
計	84名	7名	—	—	—

組2名)と園児Bの祖母1名の計6名からO157が検出され、検食およびふきとり検体等からは検出されなかった。

分離された菌株8株はすべてO157:H7で、VT2産生であった。また、薬剤感受性試験では、10薬剤(CEZ, TC, DOXY, CP, GM, NA, OFLX, CL, FOM, LVFX)に対してすべての菌株とも感受性を示した。

なお、パルスフィールド・ゲル電気泳動(PFGE)は同一の泳動パターンを示し、8名とも同一の菌株による集団感染であることが強く示唆された。

保健所が園児の保育状況などを調査したところ(表2)、保育所は2階建てであり、感染者が2階のクラスのみ偏っていること、プールについては各階で別の簡易プールを利用していることが明らかとなり、感染経路としてプールに疑いをもった。そこで、園児のプール利用状況、プールの衛生管理(プールの大きさ、消毒剤の使用量・残量、購入伝票を含む)等を詳細に調査した。その結果、残量から計算した消毒剤使用量は、簡易プールで塩素が有効となる適正使用量を大幅に下回ることを確認した。また、症状が明確な症例から算出した平均潜伏期間は7.3±1.5日であること、菌陽性者のプール利用状況から、8月8日および8月22日のプールでの感染の可能性が高いと考えた。

なお、患者Hについては、入浴を園児Bと毎日ともにしており、風呂を介した感染が強く疑われた。

本事例では、届け出医療機関が細菌検査を外部委託しており、当初は腸管出血性大腸菌感染症を疑っておらず、他の細菌検査は実施していた。O157については園児AがHUSを発症した時点で追加検査されたため、発症から届け出までに約10日間を要したこともあり、保健所が探知した時には他の感染者(菌陽性者)の大部分は既に症状が消失していた。このような特殊

な事情のため調査に時間を要した。

今回の経験から、今後の発生予防として簡易プールの衛生管理の重要性が示唆された。

徳島県日和佐保健所 倉橋佳英
徳島県保健環境センター
清水俊夫 立石ひとみ

<特集関連情報>

小学校において発生した腸管出血性大腸菌O157集団感染事例——栃木県

2002年9月24日、鹿沼市内のB医療機関から2名の腸管出血性大腸菌(EHEC)O157:H7(VT2産生)感染症の発生届けがあった。翌25日にC医療機関からも1名のEHEC O157の発生届けがあり、この患者は溶血性尿毒症症候群(HUS)を発症し入院しているとの連絡を受けた。この2件の発生届けのあった3名はいずれもA小学校の1年生であったことから、県西健康福祉センターは集団感染の疑いありと判断し直ちに調査に入った。その後、27日にD医療機関から、さらにEHEC O157の発生届けがあり、幼児(3歳)がHUSを発症し入院しているとの連絡を受けた。この患者はA小学校の1年生の患者の家族であり、10月3日にはHUSおよび脳症のため死亡した。

当センターの行った対応、調査内容および結果は以下のごとくである。①A小学校内での感染の拡大防止を図るため、24日に消毒や手洗いの励行等の衛生指導を行うとともに、欠席状況等の調査を行った。②25日現在で患者の発生が1年生に限られていたため、26日に1年生(82名)と教職員(27名)の便検査を実施した。その結果、新たに1年生6名のEHEC O157陽性者が判明したことから、30日に2～6年生(412名)

と児童家族の希望者(33名)の便検査を実施したが、EHEC O157は検出されなかった。③A小学校での給食の配膳関係、動物の飼育内容、9月の行事内容、水道関係、1年生の教室の配置、および洗面所トイレおよび砂場の検査を実施した。④共同調理場の立ち入り調査、および検査としては、関係書類の確認、使用水、保存食(91検体)の検査、従業員(43名)の便検査を実施したが、いずれからもEHEC O157は検出されなかった。⑤事件発生前の行事として、9月12日に1年生の体験学習(梨狩り)を実施していることから、体験学習先(梨栽培農家)への立ち入り調査および検査を実施した。当日は徒歩で学校から梨栽培農家へ行き、1人一切れずつ喫食し、各自2個の梨を家に持ち帰った。そのため、梨栽培農家の使用水、トイレ、台所および周辺の状況を調査し、また、梨狩りの日に収穫された梨、土壌、井戸水、梨木の葉、家族の便などの検査を実施したが、いずれからもEHEC O157は検出されなかった。

細菌検査は、分離培地としてクロモアガーO157培地とCT-SMAC培地を併用し、36°C24時間培養した。増菌培地はノボピオシン加m-EC培地を用い、42°C18時間培養した。増菌培養したものは、保存食、梨、梨木の葉、土壌、井戸水(メンブランフィルターで濾過したフィルター)であった。培養陽性株6件はクロモアガーO157培地から1件、CT-SMAC培地から6件分離された。疑わしいコロニーを釣菌し、確認培地(TSI培地、LIM培地、VP培地、CLIG培地)で生化学性状を確認した。大腸菌と同定された菌株を121°C15分間処理し、その抗原液とO157血清を反応させ凝集を確認した。志賀毒素は、PCR法によりStx遺伝子を確認し、すべてVT2産生株であった。患者および菌陽性者10名から分離された菌株は国立感染症研究所の方法により、制限酵素XbaIを用いたパルスフィールド・ゲル電気泳動法(PFGE)によって解析した。その結果、DNAパターン(図)が一致し、同一由来株

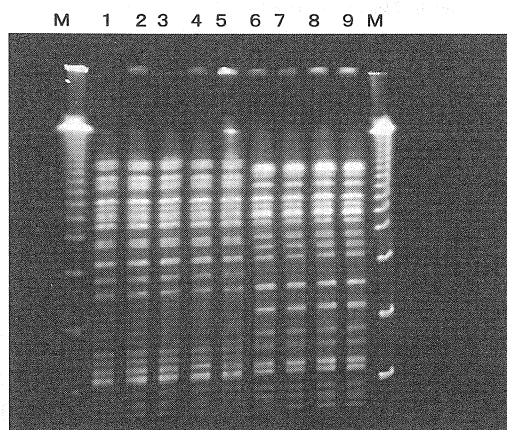


図 パルスフィールド・ゲル電気泳動像(制限酵素XbaI)

M : 分子量マーカー 1~3 : 患者由来株 4・5 : 無症状病原体保有者由来株 6~9 : 県内で発症した他のO157事例由来株

であると考えられた。

症状発現から考察すると、流行曲線は一峰性を呈しており、検査結果から単一曝露による感染と推定されたが、疫学調査あるいは統計処理を行った結果からは、感染原因および感染経路を特定することはできなかった。

死亡した患者3歳とその家族(1年生の患者)の発症については、発症日時も近いことから単一曝露と二次感染のいずれもが考えられたが、発症前の行動や喫食状況など詳細を確認できない点が多く、今回の調査では特定できなかった。

栃木県西健康福祉センター

松村京子 大島瑞枝 箕輪正文
郡司泰雄 高岩澄夫 梶田俊行
栃木県保健環境センター

首藤敦子 長 則夫 新堀精一

<国内情報>

公衆浴場施設を感染源としたレジオネラ症による死亡事例——石川県

2003年1月、石川県内の温泉を利用した循環濾過方式の公衆浴場施設を感染源とする*Legionella pneumophila*血清群(SG)3によるレジオネラ症死亡事例が発生したのでその概要を報告する。

患者は60代男性で、5年前に胆石症の既往があるがその他の基礎疾患は認めていない。1月16日、Y公衆浴場施設(以下Y施設)で、入浴中に気を失い浴槽に沈んでいたところを発見され救出されたが、その後直ちに意識を回復したため医療機関には受診せず帰宅した。翌日(17日)、38~39°Cの発熱、咳、喀痰を認めたが同日は受診せず、18日午後A医院を受診した。湯の誤嚥による誤嚥性肺炎が濃厚と診断され、抗菌薬の点滴静注後、抗菌薬と解熱鎮痛剤を処方され帰宅した。20日午前、A医院医師が往診し、病院受診・入院を勧めている途中に鮮血の血痰排出があったため、B病院へ紹介受診し、即日入院となった。同日夕方には、呼吸状態が急速に悪化し、合成ペニシリンとステロイドが投与され、人工呼吸器管理となった。22日、レジオネラ症を疑い喀痰培養等の検査を実施し、マクロライド系抗菌薬投与を開始したが、23日午前6時28分、状態改善せず死亡した。

22日夕、B病院より石川県南加賀保健所加賀地域センターにレジオネラ症疑いの患者がいる旨の連絡があり、翌朝当該患者が亡くなったと報告があった。同保健所は、A医院、B病院ならびに患者の妻から聞き取り調査を行い、患者がほぼ毎日のようにY施設を利用していたこと、16日までは全く体の不調を訴えていなかったこと、Y施設の浴槽で溺れたことから、Y施設が原因のレジオネラ症疑いが濃厚として、Y施設の調

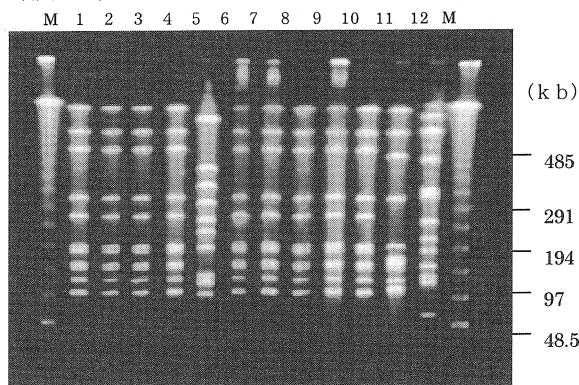
査を開始した。また、Y施設自らも専門家を交えた対策委員会を設置し、原因究明にあたった。

調査の結果、Y施設は、カルシウム・ナトリウム-硫酸塩泉を使用した5種類の浴槽を持ち、6基の塩素自動注入機付きの循環式砂濾過装置で浴槽水を循環濾過し、換水は1週間ごとに行っていた。しかし、①残留塩素濃度が適正に保持されていなかったこと、②換水の際に濾過器の消毒を怠っていたこと、③男子浴槽の濾過器の内部点検の際に汚れが確認されていたが、直ちに洗浄しなかったこと等がわかり、これらがレジオネラ属菌の増殖を招いたと推測された。

同月27日に患者喀痰の培養検査の結果が判明し、*L. pneumophila* SG3がほぼ純培養状に分離された。また、28日にY施設浴槽水の検査結果が判明し、レジオネラ属菌数は260CFU/100mlで、分離された菌の約半数は*L. pneumophila* SG3であり、その他は*L. pneumophila* SG UTであった。石川県保健環境センターにおいて、患者喀痰より分離された*L. pneumophila* SG3 (5株)、Y温泉浴槽水より分離された*L. pneumophila* SG3 (5株)の計10株についてのパルスフィールド・ゲル電気泳動法による遺伝子解析を行った結果、喀痰由来の1株を除いて9株のDNA切断パターンが一致し(図)、本事例の感染源はY施設と断定された。その後、保健所ではY施設に関する相談窓口を設置するとともに、施設利用者の健康調査などを実施したが、他に感染者および患者は確認されなかった。

Y施設は、浴槽水から菌が分離された28日より自主的に休業し、対策委員会の提言および保健所の指導により、①浴槽水における残留塩素濃度が確実に基準値内になるよう1時間ごとに残留塩素濃度を測定すること、②毎週1回の換水時に高濃度(10~50mg/l)の塩素で濾過器を消毒すること、③年2回、薬品により濾過器等の「ぬめり」を除去すること等の改善をし、レジオネラ属菌が検出されないことを確認した上で2月

(制限酵素; *Sfi* I)



M : Lambda Ladder
 レーン1~5 ; 患者喀痰由来株
 6~10 ; Y温泉施設浴槽水由来株
 11, 12 ; 対照株(環境由来株; SG3)

図 患者および浴槽水から分離された*L. pneumophila* SG3のPFGEパターン

28日より営業を再開した。

石川県では、本事例の後、県内の温泉施設等の衛生指導をさらに強化するとともに、レジオネラ症の早期診断のために、疑わしい患者に対するレジオネラ尿中抗原の検査を保健環境センターにおいて迅速に実施する体制をとり、その結果早期診断が可能となった例も経験した。レジオネラ症に対する関心は日増しに高まってはいるが、医療機関において肺炎起因菌として疑い検査されることは一般的と言いが難い。また、感染拡大防止のためには感染源や感染経路の特定は必須であり、菌の分離は大変重要である。4月1日より尿中抗原検査が診療報酬点数表に追加されたが、今後、医療機関においてレジオネラ属菌検査がさらに普及されることが望まれる。

石川県保健環境センター

倉本早苗 芹川俊彦 見谷 亨

石川県南加賀保健所

金戸恵子 寺西久子 里見良二

能登隆元 伊川あけみ

<速報>

アデノウイルスによる滲出性扁桃炎——兵庫県

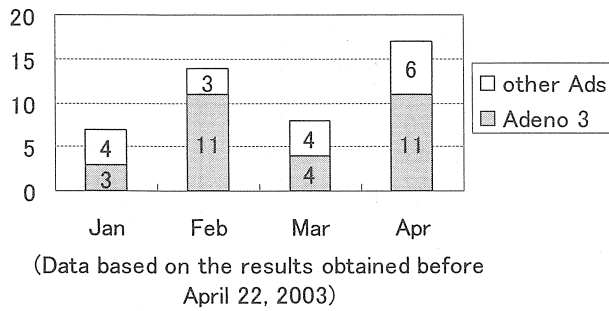
兵庫県において、2003年1月14日(検体採取日)~4月15日までの約3カ月間に滲出性扁桃炎患者40名、咽頭結膜熱患者8名およびヘルペス性口内炎患者1名の合計49名中46名(94%)の咽頭ぬぐい液からアデノウイルスが検出された。患者年齢は7カ月~8歳(平均3.8歳)で、性別は男18名、女28名であり、住所は1市1郡、すべて散発例として報告された。検出方法はPCR法+sequence法、type specific PCR法、抗原検出法(免疫クロマト法)を組み合わせ、HEp-2細胞を用いてウイルス分離も実施した。その結果、これらのいずれかで陽性のものを検出例とした(ほとんどが2つ以上の方法で陽性であった)。

滲出性扁桃炎患者40名のうち37名(93%)からアデノウイルスが検出され、内訳は3型(24名:65%)、2型(6名:16%)、1型(3名:8%)で、4名(11%)は未同定である。

また、咽頭結膜熱患者8名全員からはアデノウイルスが検出され、3型(4名:50%)、2型(2名:25%)および1型(1名:13%)と同定された。1名は型不明で検査継続中である。

これまで、アデノウイルスが検出された患者は咽頭結膜熱患者が多かったが、2003年に入って、結膜炎を欠いた滲出性扁桃炎患者からアデノウイルスが検出された。ウイルス検査の結果から、今回みられた滲出性扁桃炎は3型を中心としたアデノウイルスによるものであることが明らかになった。次ページ図にアデノウイルス検出患者数の患者発生月を示した。

図 Detection of adenoviruses, Hyogo Prefecture, 2003 (N=46)



3型アデノウイルスの流行は頻繁に発生するが、今回の報告は、①集団発生でなく散発例が多い(ただし、一部に同じ保育園、兄弟姉妹のケースも見られる)、②眼症状がない患者が多い、という特徴をもっており、年齢による診断名の偏りは見られない。なお、本報告をまとめた2003年4月22日現在も滲出性扁桃炎患者の発生が継続している。

兵庫県立健康環境科学研究所
 感染症部 藤本嗣人 近平雅嗣
 岡藤小児科医院 岡藤輝夫 岡藤隆夫

<外国情報>

病原性の高いトリインフルエンザによる死亡例、2003年—オランダ

2月末より続いているオランダにおける病原性の高いトリインフルエンザ (highly pathogenic avian influenza: HPAI) の流行で、ヒトの死亡例が報告された。

報告された症例は57歳の獣医で、本ウイルスに汚染された農場を訪れた後、4月4日にインフルエンザ様症状を発症し、重症肺炎のため4月17日にオランダの病院で死亡した。発症当初の咽頭と結膜ぬぐい液の検査では陰性であったが、入院後の気管支肺胞洗浄液と剖検の肺組織から、インフルエンザウイルス A/H7N7型の遺伝子が検出された。

この流行を抑えるための殺鶏処分に携わった職員の症例が以前より報告されており、現在までに82例のインフルエンザウイルス A/H7N7型感染症例が確認されている。ほとんどの症例が結膜炎を呈し、インフルエンザ様症状を呈している症例も報告されている。また、家庭内における人→人感染も確認されている。

本流行は継続しており、現在までに1,100万羽のトリが殺処分された。さらにこの流行は国境を越えてベルギーにまで広がっている。

(Eurosurveillance Weekly, 7, No.17, 2003)

世界のヒトペスト、2000年&2001年—WHO

ヒトペストは2000年には11カ国から2,513症例(死亡232例)、2001年には12カ国から2,671症例(死亡175例)がアフリカ地域、アメリカ地域、アジア地域から報告された。

アフリカ地域では2000年に2,431症例(死亡227例)、2001年には2,557症例(死亡165例)が報告されている。これらは全世界の症例(死亡例)の95%以上を占めている。マダガスカルからの報告が最も多く、アフリカ地域からの過去15年間の報告の40%近くを占める。2000年、2001年にはマダガスカルの他に、コンゴ民主共和国、モザンビーク、ウガンダ、タンザニア、ザンビアから報告があった。

アメリカ地域では2000年に25症例、2001年に12症例の報告があったが、全症例が回復した。ペルーからの報告が最も多く、アメリカ地域からの過去15年間の報告の80%を占める。2000年、2001年にはペルーの他に、米国、ブラジルから報告があった。

アジア地域では2000年に57症例(死亡5例)、2001年に102症例(死亡10例)の報告があった。2000年、2001年には中国、カザフスタン、モンゴル、ベトナムから報告があった。

(WHO, WER, 78, No.16, 130-135, 2003)

ブルーリ潰瘍 (Buruli ulcer)

ブルーリ潰瘍は、mycolactone と名付けられる毒素を産生する *Mycobacterium ulcerans* による感染症であり、外観上重篤な後遺症を呈する疾患である。伝播経路は明らかにされておらず、効果的な薬物療法も開発されていない。全世界で少なくとも30カ国で流行しており、特にサハラ以南アフリカの小児に多く報告されている。

オーストラリアでは1990年代に突然発生が増加し、現在年間20~30例みられている。症例数の増加の大部分は、熱帯地域のかなり南に位置するビクトリア州に集中しており、ほとんどの症例は晩冬~初春の8月、9月に発生している。

南米フランス領ギアナでは1969年に最初の患者が確認されてから、2002年12月31日までに193例が報告されている。症例は沿岸地域に集中している。

スーダン、コンゴ民主共和国やウガンダなどの流行国と国境を接しているが、南スーダンからは数例のみの報告であった。しかし2002年7月に、エクアトリア地方にある難民キャンプにおいて発生がみられ、その結果、2002年の7月~10月にかけて568例の疑い例が報告され、感染が拡大したことを示している。

(WHO, WER, 78, No.19, 163-168, 2003)

(担当: 感染研・鈴木, 逸見, 増田, 木村)

重症急性呼吸器症候群 (SARS) の累積「可能性例」報告数 (2003年6月5日現在) -WHO

(2002年11月1日a ~2003年6月5日)

国/地域名	累積症例数 ^b	WHOによる前回の更新以降の 新規症例数 ^b	死亡者数	回復者数 ^c	「可能性例」の 最終報告日	現在の累積 症例数報告 日
中国	5,329	0	336	3,770	6月3日	6月5日
香港(中国特別行政区) ^d	1,748	0	284	1,343	6月4日	6月5日
台湾	677	1	81	257	6月5日	6月5日
カナダ	218	5	31	120	6月4日	6月4日
シンガポール	206	0	31	165	5月18日	5月31日
米国	69	0	0	34	6月3日	6月3日
ベトナム	63	0	5	58	4月14日	5月14日
フィリピン	12	0	2	10	5月15日	6月5日
ドイツ	10	0	0	9	6月4日	6月5日
イタリア	9	0	0	9	4月29日	6月5日
モンゴル	9	0	0	9	5月6日	6月2日
タイ	8	0	2	6	5月13日	6月4日
フランス	7	0	0	6	5月9日	5月22日
オーストラリア	5	0	0	5	5月12日	6月5日
マレーシア	5	0	2	3	5月20日	6月4日
英国	4	0	0	4	4月29日	6月4日
インド	3	0	0	3	5月13日	5月14日
韓国	3	0	0	3	5月14日	6月5日
スウェーデン	3	0	0	3	4月18日	5月13日
インドネシア	2	0	0	2	4月23日	6月5日
ブラジル	2	0	0	2	4月10日	4月24日
アイルランド	1	0	0	1	3月21日	5月23日
クウェート	1	0	0	1	4月9日	4月20日
コロンビア	1	0	0	1	5月5日	5月5日
スイス	1	0	0	1	3月17日	5月16日
スペイン	1	0	0	1	4月2日	6月5日
ニュージーランド	1	0	0	1	4月30日	6月5日
フィンランド	1	0	0	1	5月7日	5月20日
マカオ(中国特別行政区)	1	0	0	1	5月21日	6月3日
南アフリカ	1	0	1	0	4月9日	5月3日
ルーマニア	1	0	0	1	3月27日	4月22日
ロシア	1	0	0	0	5月31日	5月31日
計	8,403	6	775	5,830		

・累積症例数は死亡者数を含む

・重症急性呼吸器症候群(SARS)は除外診断であるので、症例の報告状況は時々刻々と変わりうる。したがって以前に報告された症例でも、その後の調査と経過観察により削除される可能性がある。

a 現在はSARSと確認された中国の異型肺炎の症例を含めるために、サーベイランス期間の開始日を2002年11月1日に変更した。

b 「累積症例数」の減少と、「前回と今回のWHOへの新規報告症例数」のあいだの矛盾は、(同期間に別な病因が判明し)取り下げられた症例数があることによって生じている。

c 各国の公衆衛生当局が、「退院」あるいは「回復」と報告した症例を含む。

d 香港における死亡例はベトナムから医療移送された1例を含む。

* 最新の情報は感染症情報センターホームページ <http://idsc.nih.gov/jp/others/urgent/update.html> を参照ください。

<病原細菌検出状況・2003年5月26日現在報告数>

検体採取月別、由来ヒト(地研・保健所)その1

(2003年5月26日現在累計)

	01 11月	01 12月	02 1月	02 2月	02 3月	02 4月	02 5月	02 6月	02 7月	02 8月	02 9月	02 10月	02 11月	02 12月	03 1月	03 2月	03 3月	03 4月	合計
Enteroinvasive <i>E. coli</i> (EIEC)	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
Enterotoxigenic <i>E. coli</i> (ETEC)	2	2	1	1	1	1	4	3	8	22	6	60	5	-	1	3	1	1	122
Enteropathogenic <i>E. coli</i> (EPEC)	32	25	19	26	25	14	49	30	30	27	26	18	16	12	24	25	29	5	432
Verotoxin-producing <i>E. coli</i> (EHEC/VTEC)	64	50	19	18	22	63	156	317	423	443	179	73	46	24	23	20	8	13	1961
<i>E. coli</i> other/unknown	26	32	53	10	35	34	39	39	25	32	15	10	29	37	31	25	39	31	542
<i>Salmonella</i> Typhi	-	1	1	2	1	3	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-	1	13
<i>Salmonella</i> Paratyphi A	-	1	-	-	1	-	-	2	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	8
<i>Salmonella</i> 04	22	15	7	16	6	6	21	15	25	52	26	20	4	8	3	3	4	7	260
<i>Salmonella</i> 07	29	18	9	10	14	27	18	27	30	44	42	23	14	6	8	4	1	9	333
<i>Salmonella</i> 08	7	9	5	4	3	2	6	14	15	11	22	16	5	92	9	1	-	-	221
<i>Salmonella</i> 09	136	92	31	14	29	48	162	145	152	238	202	180	67	29	20	6	10	4	1565
<i>Salmonella</i> 09.46	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
<i>Salmonella</i> 03,10	2	3	1	1	2	1	1	4	4	6	7	1	-	-	-	3	1	2	39
<i>Salmonella</i> 01,3,19	-	1	-	-	1	-	1	2	2	2	10	2	-	1	-	-	-	-	22
<i>Salmonella</i> 011	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
<i>Salmonella</i> 013	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	4
<i>Salmonella</i> 016	1	-	-	-	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
<i>Salmonella</i> 017	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Salmonella</i> 018	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
<i>Salmonella</i> 035	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2
<i>Salmonella</i> 039	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4
<i>Salmonella</i> others	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	2
<i>Salmonella</i> unknown	-	2	-	-	-	1	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	8
<i>Listeria monocytogenes</i>	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>Yersinia enterocolitica</i>	2	2	1	-	1	1	2	2	7	4	5	-	1	-	-	2	1	1	32
<i>Vibrio cholerae</i> 01:E1t.Oga. (CT+)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>Vibrio cholerae</i> 01:E1t.Oga. (CT-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>Vibrio cholerae</i> 01:E1t.Ina. (CT+)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	8
<i>Vibrio cholerae</i> 01:E1t.Ina. (CT-)	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5
<i>Vibrio cholerae</i> 01 CT-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>Vibrio cholerae</i> 0139 CT+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
<i>Vibrio cholerae</i> non-01 & 0139	2	-	-	1	-	-	1	1	3	3	1	-	-	-	-	1	-	-	13
<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	1	-	3	-	-	2	2	6	81	203	88	20	3	-	-	3	5	-	417
<i>Vibrio fluvialis</i>	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
<i>Aeromonas hydrophila</i>	2	-	1	-	-	1	1	1	3	2	2	2	-	-	-	-	-	1	16
<i>Aeromonas sobria</i>	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	7
<i>Plesiomonas shigelloides</i>	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
<i>Campylobacter jejuni</i>	53	48	20	37	26	93	151	66	101	63	55	75	84	33	38	18	40	33	1034
<i>Campylobacter coli</i>	-	-	-	2	2	6	-	-	2	-	-	-	1	-	2	-	-	-	15
<i>Campylobacter jejuni/coli</i>	3	3	1	1	3	3	3	11	3	2	2	9	5	-	1	-	-	-	50

上段：国内例、下段：輸入例（別掲）

検体採取月別、由来ヒト(地研・保健所)その2

(2003年5月26日現在累計)

	01 11月	01 12月	02 1月	02 2月	02 3月	02 4月	02 5月	02 6月	02 7月	02 8月	02 9月	02 10月	02 11月	02 12月	03 1月	03 2月	03 3月	03 4月	03 5月	合計
<i>Staphylococcus aureus</i>	16	12	9	18	6	10	13	7	29	69	19	54	28	7	14	13	25	18	367	
<i>Clostridium perfringens</i>	-	10	20	1	6	34	120	25	1	1	44	3	198	3	58	4	36	5	569	
<i>Bacillus cereus</i>	-	47	-	1	-	-	3	1	4	-	1	4	-	-	2	-	-	-	63	
<i>Shigella dysenteriae</i> 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> 1a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> 1b	1	-	1	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
<i>Shigella flexneri</i> 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> 2a	-	-	1	1	1	1	2	2	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	12	
<i>Shigella flexneri</i> 2b	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	
<i>Shigella flexneri</i> 2b	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	
<i>Shigella flexneri</i> 3a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> 3b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> 4a	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	7	
<i>Shigella flexneri</i> 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> 5b	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> var. X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella boydii</i> 2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
<i>Shigella boydii</i> 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
<i>Shigella boydii</i> 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
<i>Shigella boydii</i> 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
<i>Shigella sonnei</i>	8	109	73	15	14	5	5	2	2	7	3	5	-	6	5	4	2	2	267	
<i>Entamoeba histolytica</i>	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
<i>Cryptosporidium</i>	-	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	
<i>Giardia lamblia</i>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Streptococcus</i> group A	247	286	245	285	206	163	179	201	141	56	36	130	140	188	127	129	110	73	2942	
<i>Streptococcus</i> group B	16	25	18	16	10	9	12	19	9	22	2	3	5	2	12	1	2	3	186	
<i>Streptococcus</i> group C	-	2	2	3	2	1	2	3	3	1	-	-	1	-	-	-	-	1	21	
<i>Streptococcus</i> group G	7	6	5	7	6	4	3	7	10	6	1	2	3	2	5	1	2	3	80	
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	28	47	25	42	9	12	5	8	19	11	8	2	14	11	14	6	8	4	273	
<i>Bordetella pertussis</i>	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	6	
<i>Legionella pneumophila</i>	-	1	2	-	-	-	-	-	5	1	1	1	-	1	2	-	-	1	15	
<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	
<i>M. avium-intracellulare</i> complex	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	
<i>Haemophilus influenzae</i> b	1	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	
<i>Haemophilus influenzae</i> non-b	11	7	7	8	2	6	3	5	14	7	6	4	8	14	21	15	18	21	177	
<i>Neisseria meningitidis</i>	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	4	
<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	5	5	10	3	1	3	2	2	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	36	
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	
国内例合計	740	878	594	549	439	559	1007	971	1161	1362	817	724	687	480	427	290	343	240	12268	
輸入例合計	-	5	7	4	5	7	18	12	7	6	7	15	7	8	6	11	4	3	132	

上段：国内例、下段：輸入例（別掲）

検体採取月別、由来ヒト(検疫所)

(2003年5月26日現在累計)

	01 11月	01 12月	02 1月	02 2月	02 3月	02 4月	02 5月	02 6月	02 7月	02 8月	02 9月	02 10月	02 11月	02 12月	03 1月	03 2月	03 3月	03 4月	03 5月	合計	
Enterotoxigenic <i>E. coli</i> (ETEC)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
Enteroinvasive <i>E. coli</i> (EIEC)	-	-	2	-	2	2	1	1	-	-	1	1	1	1	-	-	1	-	-	13	
Enteropathogenic <i>E. coli</i> (EPEC)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	4	
<i>Salmonella</i> Paratyphi A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Salmonella</i> O4	-	-	1	2	-	2	1	-	1	1	2	3	-	2	2	1	4	1	-	23	
<i>Salmonella</i> O7	1	-	3	3	2	2	-	1	1	1	2	1	3	2	-	1	2	-	-	25	
<i>Salmonella</i> O8	-	1	2	-	2	-	2	3	1	3	4	4	1	1	-	-	4	-	-	28	
<i>Salmonella</i> O9	2	-	2	2	2	1	1	1	2	1	2	1	1	3	1	1	3	1	-	27	
<i>Salmonella</i> O3,10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	3	2	-	1	1	4	-	-	17	
<i>Salmonella</i> O1,3,19	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	5	
<i>Salmonella</i> O13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Salmonella</i> O16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	
<i>Vibrio cholerae</i> O1:E1t.Oga. (CT+)	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4	
<i>Vibrio cholerae</i> O1:E1t.lna. (CT+)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	
<i>Vibrio cholerae</i> O1:E1t.lna. (CT-)	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	
<i>Vibrio cholerae</i> O139 CT-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Vibrio cholerae</i> non-O1& O139	3	2	3	7	16	10	12	14	7	27	23	2	9	8	8	12	20	8	-	191	
<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	8	16	21	28	58	29	55	44	47	126	66	92	37	14	35	28	44	15	-	763	
<i>Vibrio fluvialis</i>	-	1	1	2	2	-	2	2	2	6	5	2	2	-	2	-	2	-	-	31	
<i>Vibrio mimicus</i>	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	1	-	-	6	
<i>Vibrio furnissii</i>	-	-	-	-	1	-	1	-	4	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	9	
<i>Vibrio alginolyticus</i>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
<i>Aeromonas hydrophila</i>	2	2	1	2	3	3	6	-	7	16	8	3	3	1	1	4	6	1	-	69	
<i>Aeromonas sobria</i>	1	6	4	7	14	4	10	4	8	9	11	9	6	4	7	8	15	1	-	128	
<i>Aeromonas caviae</i>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	
<i>Plesiomonas shigelloides</i>	29	33	68	100	218	94	124	76	107	226	183	78	73	67	99	90	151	48	-	1864	
<i>Shigella dysenteriae</i> 4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
<i>Shigella dysenteriae</i> NT	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> 1b	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
<i>Shigella flexneri</i> 2a	1	2	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	8	
<i>Shigella flexneri</i> 2b	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	4	-	1	-	-	1	-	-	-	9	
<i>Shigella flexneri</i> 3a	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	1	-	7	
<i>Shigella flexneri</i> 4b	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> 6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	4	
<i>Shigella flexneri</i> var. X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella flexneri</i> others	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2	
<i>Shigella flexneri</i> NT	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella boydii</i> 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
<i>Shigella boydii</i> 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella boydii</i> 4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	
<i>Shigella boydii</i> 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2	
<i>Shigella boydii</i> NT	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Shigella sonnei</i>	2	11	7	5	11	12	16	6	10	13	20	10	9	6	8	9	18	9	-	182	
<i>Shigella</i> unknown	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
Others	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
合計	51	77	117	158	336	164	235	155	201	441	346	217	156	111	166	159	280	86	-	3456	
輸入例																					

病原体が検出された者の渡航先(検疫所集計)

2003年4月～5月累計

(2003年5月26日現在)

検出病原体	ド	ア	ア	ア	ル	カ	イ	湾	国	コ	ル	ン	ム	ア	ン	ス	ト	ル	ア	例	
<i>Salmonella</i> O4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>Salmonella</i> O9	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>V. cholerae</i> non-O1&O139	3	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	8
<i>V. parahaemolyticus</i>	1	1	-	-	-	1	7	-	-	-	1	1	5	1	-	-	-	-	-	-	15
<i>A. hydrophila</i>	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>A. sobria</i>	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>P. shigelloides</i>	2	7	5	1	4	-	28	1	1	1	3	1	5	3	1	3	1	-	-	1	48
<i>S. flexneri</i> 3a	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>S. boydii</i> 10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>S. sonnei</i>	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	9
合計	14	11	5	1	4	1	42	1	1	1	6	2	13	5	1	4	1	1	1	1	86

* 2つ以上の国へ渡航した例を含む

報告機関別、由来ヒト(地研・保健所集計)

2003年4月検体採取分

(2003年5月26日現在)

検出病原体	札幌市	秋田県	山形県	福島県	栃木県	千葉県	千葉県	横浜市	横浜市	川崎市	新潟県	石川県	長野県	静岡県	滋賀県	大阪府	大阪府	姫路市	徳島県	香川県	福岡県	合計
EHEC/VTEC	3	2	-	-	1	-	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	13
ETEC	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
EPEC	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5
<i>E. coli</i> others	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	31
<i>Salmonella</i> Typhi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
<i>Salmonella</i> Paratyphi A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)	-	-	-	-	-	1 (1)
<i>Salmonella</i> 04	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	7
<i>Salmonella</i> 07	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	1	-	-	-	9
<i>Salmonella</i> 09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)	3	-	1	-	-	-	-	5 (1)
<i>Salmonella</i> 03,10	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
<i>Salmonella</i> unknown	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>Y. enterocolitica</i>	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>A. hydrophila</i>	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>C. jejuni</i>	-	5	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	9	5	-	-	1	3	-	2	2	33
<i>S. aureus</i>	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	18
<i>C. perfringens</i>	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
<i>S. sonnei</i>	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1 (1)	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 (1)
<i>Streptococcus</i> A	-	-	13	19	-	-	-	-	-	14	-	2	-	-	25	-	-	-	-	-	-	73
<i>Streptococcus</i> B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3
<i>Streptococcus</i> C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
<i>Streptococcus</i> G	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
<i>S. pneumoniae</i>	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4
<i>L. pneumophila</i>	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>H. influenzae</i> non-b	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
合計	3	28	14	45	8	7	1	3	6	14	5 (1)	11	40	2 (1)	39 (1)	3	5	1	6	2	243 (3)	
<i>Salmonella</i> 血清型別内訳																						
04 Agona	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
Saintpaul	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	4
Brezany	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
Not typed	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
07 Infantis	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	4
Thompson	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
Tennessee	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
Montevideo	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
09 Enteritidis	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2
Panama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)	2	-	-	-	-	-	-	-	3 (1)
03,10 Anatum	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
Weltevreden	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
A群溶レン菌T型別内訳																						
T1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	16	-	-	-	-	-	20
T3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T4	-	-	3	12	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	25
T11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
T12	-	-	9	4	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	20
T25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
T28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
TB3264	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
型別不能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2

(): 輸入例再掲

臨床診断名別(地研・保健所集計)

2003年4月～5月累計

(2003年5月26日現在)

検出病原体	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス	腸管出血性大腸菌感染症	レジオネラ症	A群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	記載なし	その他
EHEC/VTEC	-	-	-	16	-	-	-	-	-
EPEC	-	-	-	-	-	-	5	-	-
<i>E. coli</i> others	-	-	-	-	-	-	2	-	-
<i>S. Typhi</i>	-	1	-	-	-	-	-	-	-
<i>S. Paratyphi A</i>	-	-	1	-	-	-	-	-	-
<i>Salmonella</i> 07	-	-	-	-	-	-	-	1	-
<i>C. jejuni</i>	-	-	-	-	-	-	4	1	2
<i>C. jejuni/coli</i>	-	-	-	-	-	-	-	1	-
<i>S. sonnei</i>	2	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>S. pyogenes</i>	-	-	-	-	-	15	-	-	-
<i>L. pneumophila</i>	-	-	-	-	1	-	-	-	-
合計	2	1	1	16	1	15	11	3	2

* 「病原体個票」により臨床診断名が報告された例を集計
診断名は感染症発生動向調査対象疾患

分離材料別、2002年12月～2003年5月累計 (2003年5月26日現在)

	糞便	喀痰・気管吸引液	咽頭ぬぐい液	結膜ぬぐい液	血液	髄液	尿	皮膚病巣	陰部尿道頸管擦過物	その他	例数
COXSA. A4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
COXSA. A5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
COXSA. A6	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
COXSA. A9	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA. A10	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA. A16	1	-	17	-	-	-	-	1	-	-	19
COXSA. B2	8	-	20	-	1	7	-	-	-	-	31
COXSA. B3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
COXSA. B4	5	-	7	-	-	-	-	-	-	-	12
COXSA. B5	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
ECHO 6	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5
ECHO 9	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	5
ECHO 13	1	-	5	-	-	2	-	-	-	-	8
ECHO 30	-	-	2	-	-	3	-	-	-	-	5
POLIO 1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
POLIO 2	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	7
POLIO 3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
ENTERO 71	2	-	15	-	-	-	-	-	-	-	17
RHINO	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
INF. A NT	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
INF. A (H1)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
INF. A (H3)	1	3	4412	1	-	3	-	-	-	-	4418
INF. A H3N2	-	1	232	-	-	-	-	-	-	-	233
INF. B	-	2	2204	-	-	-	-	-	-	-	2206
PARAINF. 1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
PARAINF. 2	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5
RSV	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	40
MUMPS	-	-	17	-	-	8	-	-	-	-	25
MEASLES	-	-	72	-	26	-	-	-	-	-	77
ROTA NT	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
ROTA A	461	-	-	-	-	-	-	-	-	-	461
ROTA C	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
ASTRO NT	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
SRSV	24	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25
NLV NT	132	-	-	-	-	-	-	-	-	-	132
NLV GI	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49
NLV GII	488	-	-	-	-	-	-	-	-	3	491
SLV	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
ADENO NT	28	-	30	2	-	-	-	-	-	-	58
ADENO 1	18	1	76	1	-	-	-	-	-	-	90
ADENO 2	39	-	107	-	-	-	-	-	-	-	138
ADENO 3	25	1	117	4	-	-	-	-	-	-	136
ADENO 4	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3
ADENO 5	6	-	26	1	-	-	-	-	-	-	32
ADENO 6	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	8
ADENO 7	-	-	9	1	-	-	-	-	-	-	10
ADENO 11	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	3
ADENO 19	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	6
ADENO 31	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ADENO 37	1	-	1	18	-	-	-	-	-	-	20
ADENO40/41	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
HSV NT	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	15
HSV 1	-	1	46	-	-	-	-	5	-	-	52
VZV	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	4
CMV	1	-	15	-	-	-	2	-	-	-	18
HHV 6	-	-	29	-	1	1	-	-	-	-	30
HHV 7	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	8
EBV	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	13
PARVO B19	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	11
DENGUE 1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2
HIV	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
VIRUS NT	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
C. TRACHOMA	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	12
TOTAL	1399	9	7589	35	31	25	4	7	12	4	9057

NT:未同定

* 複数の分離材料から同一ウイルスが検出された例を含む

報告機関別、由来ト 2002年12月～2003年5月累計 (2003年5月26日現在)

	北海道	札幌市	青森県	岩手県	宮城県	仙台市	秋田県	山形県	福島県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	横浜市	川崎市	横須賀市	新潟県	新潟市	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	静岡県	静岡市	浜松市	愛知県	名古屋市	三重県				
COXSA. A4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
COXSA. A5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
COXSA. A6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
COXSA. A9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
COXSA. A10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
COXSA. A16	-	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-					
COXSA. B2	-	-	-	-	2	-	-	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2					
COXSA. B3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
COXSA. B4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
COXSA. B5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ECHO 6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ECHO 9	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ECHO 13	-	-	-	-	2	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ECHO 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
POL10 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-					
POL10 2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
POL10 3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ENTERO 71	-	-	-	-	-	-	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1					
RHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
INF. A NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-					
INF. A(H1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
INF. A(H3)	4	215	62	114	15	88	91	175	175	43	8	89	132	26	25	84	65	1	31	262	13	74	132	145	152	89	49	22	27	113	66	14			
INF. A H3N2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
INF. B	-	73	30	61	-	25	50	62	114	45	5	67	57	25	22	27	65	43	18	97	6	40	22	99	144	72	15	8	-	16	10	15			
PARAINF. 1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-			
PARAINF. 2	-	-	-	-	2	-	-	8	-	-	-	-	-	5	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-			
RSV	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	-	1	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-			
MUMPS	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	5	8	9	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
MEASLES	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	5	8	9	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ROTA NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ROTA A	-	-	-	24	5	-	21	-	15	10	1	8	-	7	38	-	6	-	8	-	7	-	16	-	-	-	4	1	5	-	9				
ROTA C	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ASTRO NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
SRSV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-			
NLV NT	-	-	-	-	3	16	-	67	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	15	-	-	-	8	-	-	1	-	-	-	-	1				
NLV GI	-	-	-	1	2	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-				
NLV GI1	-	-	8	46	6	-	25	-	2	28	-	1	-	11	24	-	-	4	2	-	2	4	-	7	-	1	-	20	-	6					
SLV	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5				
ADENO NT	-	-	-	1	-	-	-	-	4	-	-	-	-	39	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ADENO 1	-	-	-	-	1	-	6	10	3	3	-	-	2	11	1	-	-	-	10	1	-	2	-	1	3	-	1	-	1	-	1				
ADENO 2	-	2	1	-	2	-	-	10	4	-	2	1	-	3	14	-	-	-	14	-	-	1	2	1	6	-	-	-	3	4	1				
ADENO 3	-	2	-	-	-	2	2	-	1	-	4	-	3	11	-	-	-	-	4	-	-	6	3	-	-	-	-	2	1	5	-				
ADENO 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ADENO 5	1	-	-	-	2	-	-	3	3	-	1	1	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	1				
ADENO 6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ADENO 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ADENO 11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ADENO 19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-		
ADENO 31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ADENO 37	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-		
ADENO40/41	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
HSV NT	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
HSV 1	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	1	10	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-		
VZV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
CMV	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
HHV 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
HHV 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
EBV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
PARVO B19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
DENGUE 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
HIV	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
VIRUS NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C. TRACHOMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	5	292	101	258	50	131	200	371	335	135	23	169	194	89	312	114	151	115	54	431	20	123	168	276	307	174	64	40	30	170	86	59			

NT:未同定

報告機関別、由来ヒト

(つづき)

滋賀	京都	京都市	大阪府	大阪府	堺市	兵庫	神戸	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	福岡	北九州	佐賀	長崎	熊本	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	合計	
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	COXSA. A4
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	COXSA. A5
-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	COXSA. A6	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	COXSA. A9	
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	COXSA. A10	
1	-	2	-	-	2	-	2	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	COXSA. A16	
-	1	1	1	-	-	-	2	-	1	-	2	1	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	31	COXSA. B2	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	COXSA. B3	
-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	12	COXSA. B4	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	COXSA. B5	
-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	ECHO 6	
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	ECHO 9	
-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	ECHO 13	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	ECHO 30	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	POLIO 1	
-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	POLIO 2	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	POLIO 3	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	17	ENTERO 71	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	RHINO	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	INF. A NT	
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	INF. A(H1)	
34	53	14	58	44	20	176	88	94	87	5	65	57	-	30	62	26	166	149	107	34	68	28	12	75	74	4	61	65	6	55	4418	INF. A(H3)
-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	154	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	233	INF. A H3N2
14	9	9	25	23	5	36	40	36	26	3	34	12	12	2	20	11	246	44	68	8	34	8	16	24	33	3	13	24	8	27	2206	INF. B
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	PARAINF. 1	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	PARAINF. 2	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	40	RSV	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25	MUMPS	
-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	2	77	MEASLES
18	-	6	17	14	-	-	-	30	1	16	17	-	20	8	-	8	34	28	44	-	-	-	5	3	-	-	-	-	19	ROTA NT		
5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	1	3	461	ROTA A
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	21	ROTA C	
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	12	-	3	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	6	ASTRO NT	
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	SRSV	
-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	-	1	6	-	7	1	-	-	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	132	NLV NT	
7	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	7	1	-	-	-	-	7	2	-	-	-	-	-	6	-	1	-	49	NLV GI	
61	-	20	11	14	-	-	-	13	6	-	10	40	3	19	3	2	-	54	21	-	-	-	-	-	-	14	1	1	-	491	NLV GI I	
-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	24	SLV	
4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	53	ADENO NT	
1	1	1	-	-	4	2	3	-	-	4	1	3	1	-	3	-	2	1	-	2	2	-	-	-	-	1	-	1	-	90	ADENO 1	
3	2	2	1	3	-	8	9	7	3	-	7	2	1	12	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	2	-	-	2	-	138	ADENO 2	
6	-	2	4	4	-	29	10	4	-	-	-	-	11	8	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	136	ADENO 3	
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	ADENO 4	
-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	2	-	-	1	-	1	-	-	2	3	-	-	1	-	-	-	32	ADENO 5		
-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	8	ADENO 6	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	10	ADENO 7	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	ADENO 11	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	6	ADENO 19	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	ADENO 31	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	ADENO 37	
-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	4	3	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	17	ADENO40/41	
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	HSV NT	
-	-	2	-	-	-	1	5	2	-	2	-	1	1	2	-	-	4	7	-	-	2	1	-	-	-	-	-	2	-	52	HSV 1	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	VZV	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	CMV	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	HHV 6	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	HHV 7	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	EBV	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	PARVO B19	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	DENGUE 1	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	HIV	
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	VIRUS NT	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	C. TRACHOMA	
158	66	70	123	116	28	256	161	197	124	43	153	130	226	107	87	57	451	367	243	42	109	68	35	99	163	12	102	113	22	82	9057	TOTAL

臨床診断名別、2002年12月～2003年5月累計

(2003年5月26日現在)

	急性 性 ウ イル ス 性 肝 炎	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 群	デ ン グ 熱	イ ン フル エ ン ザ	咽 頭 結 核 膜 熱	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑 疹	突 発 性 発 疹	ヘル パン ギ ナ 疹	麻 疹	流 行 性 耳 下 腺 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 症	性 器 へ ル ペ ス	急 性 脳 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	成 人 麻 疹	不 明 ・ 記 載 な し	そ の 他 の 診 断 名	合 計		
COXSA. A4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4		
COXSA. A5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
COXSA. A6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4		
COXSA. A9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
COXSA. A10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
COXSA. A16	-	-	-	2	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	19		
COXSA. B2	-	-	-	8	1	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	7	31		
COXSA. B3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2		
COXSA. B4	-	-	-	4	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	12		
COXSA. B5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3		
ECHO 6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	1	5		
ECHO 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	5		
ECHO 13	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	8		
ECHO 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	5		
POLIO 1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	
POLIO 2	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	7	
POLIO 3	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	4	
ENTERO 71	-	-	-	1	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	17	
RHINO	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	
INF. A NT	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
INF. A (H1)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
INF. A (H3)	-	-	-	4040	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	34	336	4418	4418	
INF. A H3N2	-	-	-	220	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	233	233	
INF. B	-	-	-	2012	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	178	2206	2206	
PARAINF. 1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
PARAINF. 2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	5	
RSV	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	40	40	
MUMPS	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	1	-	7	-	-	3	25	25	
MEASLES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	-	-	-	-	-	-	-	-	15	1	3	77	77	
ROTA NT	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	19	19	
ROTA A	-	-	-	1	2	441	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	6	9	461	461	
ROTA C	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	21	
ASTRO NT	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	
SRSV	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	7	25	25	
NLV NT	-	-	-	-	-	130	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	132	132	
NLV GI	-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	6	49	49	
NLV GII	-	-	-	-	-	381	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	65	491	491	
SLV	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	24	24	
ADENO NT	-	-	-	1	-	19	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	33	58	58	
ADENO 1	-	-	-	18	8	13	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	49	90	90	
ADENO 2	1	-	-	22	14	21	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	74	138	138	
ADENO 3	1	-	-	10	25	10	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	8	77	136	136	
ADENO 4	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	3	
ADENO 5	-	-	-	12	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	32	32	
ADENO 6	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	8	
ADENO 7	-	-	-	3	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	10	
ADENO 11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	3	3	
ADENO 19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	
ADENO 31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	
ADENO 37	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	3	20	20	
ADENO40/41	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	17	
HSV NT	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	10	15	15	
HSV 1	-	-	-	5	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	41	52	52	
VZV	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	4	
CMV	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	18	18	
HHV 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	30	30	
HHV 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	8	8	
EBV	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	13	13	
PARVO B19	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	11	11	
DENGUE 1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2
HIV	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
VIRUS NT	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
C. TRACHOMATIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12
TOTAL	4	1	2	6381	63	1180	2	34	9	14	13	58	13	30	12	1	10	2	28	15	131	1054	9057	9057	

NT:未同定

* 感染症発生動向調査の対象疾患を集計

Serotypes and VT types of EHEC isolates during 2001-2002.....	131	An outbreak of EHEC O157 infection at a primary school, September 2002 – Tochigi	134
PFGE patterns of EHEC O157 widely isolated from human cases in Japan in 2001 and 2002	132	A fatal case of <i>Legionella</i> pneumonia after a drowning accident at a spa public bath, January 2003 – Ishikawa.....	135
An outbreak of EHEC O157:H- infection at a nursery school suspected to be caused by lightly salted cucumbers, June-July 2002 – Fukuoka City.....	132	An epidemic of exudative angina due to adenoviruses, January-March 2003 – Hyogo.....	136
An outbreak of EHEC O157:H7 infection suspected to be spread in a paddling pool of a nursery school, August 2002 – Tokushima ...	133		

<THE TOPIC OF THIS MONTH>
Enterohemorrhagic *Escherichia coli* infection as of May 2003

Infection with enterohemorrhagic *Escherichia coli* (EHEC) is listed as a category III notifiable infectious disease under the Law Concerning the Prevention of Infectious Diseases and Medical Care for Patients of Infections (the Infectious Diseases Control Law) enacted in April 1999.

At present, a molecular EHEC surveillance system (Pulse-Net Japan) which combines genotypes of the isolates determined by pulsed-field gel electrophoresis (PFGE) with epidemiological data is on trial as one of the methods for rapid detection of diffuse outbreaks. Also, a project to expand the Pulse-Net is in progress under the collaboration with U.S.A. (CDC) and other countries toward the establishment of an international rapid detection system of outbreaks including EHEC infections.

Trend of notified cases: A total of 3,185 symptomatic and asymptomatic cases of EHEC infection (hereafter referred to as cases of EHEC infection) were notified in 2002 (Table 1). Weekly case reports increased with small peaks at the 16th (April 15-21), the 21st (May 20-26) and the 26th (June 24-30) weeks due to several outbreaks and a diffuse outbreak (Table 3), largely increased in the summer with a peak at the 33rd week (August 12-18), and decreased thereafter (Fig. 1). The incidence in 2002 varied from one prefecture to another, giving 0.60-19.68 cases per 100,000 population (Fig. 2). The highest incidence was seen in Saga and Ishikawa Prefectures where several outbreaks occurred, and Tochigi Prefecture where a large outbreak occurred. Cases of EHEC infection aged 0-4 years counted at the largest number, followed by those aged 5-9 years. As to the gender, a slightly larger number of males were reported in the age group of 0-19 years, while more females over 20 years (Fig. 3). The ratio of symptomatic patients was high in young and aged groups both for males and females (72% of those under 19 years and 67% of those over 65 years), and was less than 50% of in ages of 30s, 40s, and 50s.

Reports of EHEC isolation: Reports of EHEC isolation by prefectural and municipal public health institutes (PHIs) to the Infectious Disease Surveillance Center, the National Institute of Infectious Diseases, increased abruptly to 3,022 in 1996, and have been kept at about 2,000 per year since then (see <http://idsc.nih.gov.jp/prompt/graph-l.html>). The reports of EHEC isolation showed some differences in number from the reported cases of EHEC infection (Table 1). This is due to the fact that some information on EHEC isolation at other places than PHIs may not reach PHIs under the current system. During 1991-1995, 83% of the isolates (436/525) were demonstrated as serotype O157:H7. Thereafter, O26 and O111 have increased. In 2002, O157:H7 decreased to 53% of the isolates (see page 131 of this issue). As to Verocytotoxin (VT) types (or VT gene types) among serotypes, EHEC O157:H7 with both VT1 and VT2 (VT1&2) largely increased in 2001 (65%), and was also found frequently in 2002 (62%). In contrast, VT1 was predominant among O26 and O111 isolates.

Table 1. Notified cases of EHEC infection

Year	Period	Cases
1996	Aug. 6-Dec. 31	1,287 *
1997	Jan. 1-Dec. 31	1,941 *
1998	Jan. 1-Dec. 31	2,077 *
1999	Jan. 1-Mar. 31	108 *
1999	Apr. 1-Dec. 31	3,114 **
2000	Jan. 1-Dec. 31	3,647 **
2001	Jan. 1-Dec. 31	4,336 **
2002	Jan. 1-Dec. 31	3,185 **
2003	Jan. 1-May 25	279 **

Including symptomatic and asymptomatic cases

*Statistics on Communicable Diseases in Japan (Ministry of Health and Welfare)

**National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases

(Data based on the reports as of May 29, 2003)

Figure 1. Weekly incidence of EHEC infection from the 14th week of 1999 through the 21st week of 2003, Japan (National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases)

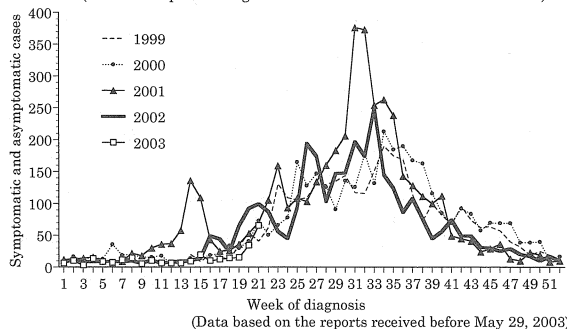
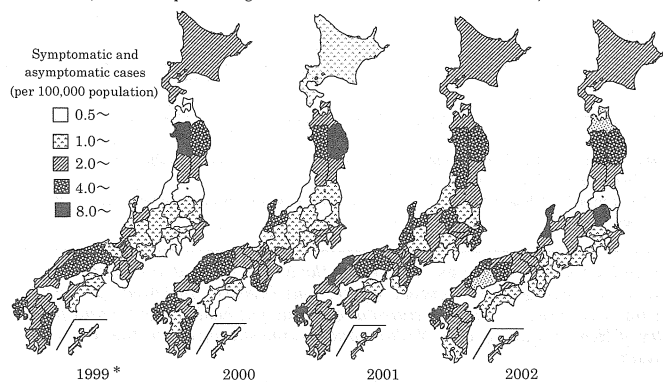
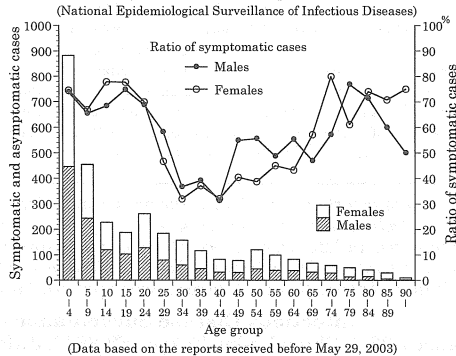


Figure 2. Incidence of EHEC infection by prefecture, 1999-2002, Japan (National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases)



*Data before March were based on "Statistics on Communicable Diseases in Japan".
 (Data based on the reports received before May 29, 2003)

Figure 3. Age distribution of cases of EHEC infection, January-December 2002, Japan (National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases)



(Data based on the reports received before May 29, 2003)

(Continued on page 130')

(THE TOPIC OF THIS MONTH-Continued)

Of 1,601 cases with EHEC isolation in 2002, hemolytic uremic syndrome (HUS) was reported in 19 cases (Table 2). O157 was isolated from 15 of these cases (nine were VT1&2 and the other six VT2), O111 (VT1&2) from two, O26 (VT1&2) from one and OUT (VT2) from one case. It is noteworthy that all isolates from these HUS cases were VT2-positive.

Symptoms of 1,058 cases yielding O157 include bloody diarrhea (33%), blood-free diarrhea (50%), abdominal pain (39%) and fever (13%).

Diffuse outbreak: In 2001, large-scale diffuse outbreaks in wide areas were reported due to wide distribution of the foodstuffs (see IASR, Vol. 23, No. 6).

Also in 2002, a diffuse outbreak due to EHEC O157:H7 at grilled-meat chain restaurants in Kansai area occurred during April-May and the patients were reported from six prefectures. The PFGE patterns of the isolates from the patients and the stocked beef were indistinguishable each other (Table 3, No.3).

Outbreaks: Among outbreaks with 10 or more EHEC-positive cases (including carriers) reported in 2002 (Table 3), foodborne infection was suspected in three incidents. In an outbreak in August at a hospital and the neighboring care facility for the aged (No. 11), nine of 123 patients died. The PFGE genotype of the O157 isolates from the patients and the incriminated foodstuffs were identical to one of the genotypes prevalent in wide areas in 2001 (see p. 132 of this issue).

Although many large-scale outbreaks at primary schools occurred in 1996 (see IASR, Vol. 19, No. 6), no additional such incident has since occurred. In 2002, however, three small- or medium-scale outbreaks at primary schools were reported. In an incident in July (No. 8), more than 10,000 people were examined for the detection of EHEC from stools to find out all asymptomatic as well as symptomatic cases at an early stage.

Furthermore, outbreaks occurred in nine nursery schools and a kindergarten in 2002. In three of these incidents, exposure to a paddling pool was suspected to be a cause of infection. To prevent outbreaks due to person-to-person transmission at nursery schools or kindergartens, the personnel must practice daily hand-washing (special attention is necessary after a change of a diaper) and educate children in habits of hand-washing after defecation and before the meal. In addition, adequate disinfection and maintenance of pools are important in the summer (see p. 133 of this issue and PHLS CDR Vol. 6, Review No.2, 1996).

In outbreaks at nursery schools, kindergartens and primary schools, infection tends to spread outside these facilities, resulting in the secondary infections among the family members (Table 3). In order to prevent prolongation and further spread of disease outbreaks due to familial infection, it is vital for guardians to receive accurate guidance for the prevention of secondary infection.

Update 2003: As of May 29, 2003, cases of EHEC infection diagnosed before May 25 counted at 279 (Table 1). The incidence before April remained at a low level, but is gradually increasing at the 20th and the 21st weeks in May and outbreaks are reported (Fig. 1). More public attention to the increase in EHEC infection anticipated for the forthcoming summer should be recommended.

Table 3. Outbreaks of EHEC infection, 2002

No.	Prefecture /City	Period	Suspected route of infection	Place of eating food or acquiring infection	Serotype	VT type	Patients	Consumers	Positive cases /examined	Secondary infection	Reference in IASR
1	Saga P.*	Apr. 11-May 2	Person to person	Nursery school	O121:H19	VT2	16	...	23 / 163	Yes	Vol.23, No.6
2	Ishikawa P.*	Apr. 17-May 1	Person to person	Kindergarten	O157:H7	VT2	5	...	12 / 303	Yes	Vol.23, No.7
3	Hyogo P.**	April-May	Foodborne ^{a)}	Chain restaurants	O157:H7	VT1&2	30	N.D.	52 / N.D.		
4	Saga P.*	Jun. 18-26	Unknown	Nursery school	O111:H-	VT1	10	N.D.	47 / 519	Yes	Vol.23, No.11
5	Fukuoka C.*	Jun. 26-Jul. 26	Foodborne ^{b)}	Nursery school	O157:H-	VT2	74	162	112 / 542	Yes	p.132 of this issue
6	Iwate P.*	Jul. 2-18	Unknown	Primary school	O111:H-	VT1	4	N.D.	15 / 331	Yes	Vol.23, No.11
7	Sapporo C.*	Jul. 10-31	Unknown	Nursery school ^{d)}	O26:H11	VT1	21	N.D.	54 / 429	Yes	Vol.23, No.11
8	Nagano C.*	Jul. 22-Aug. 7	Unknown	Primary school	O26:H11	VT1	45	4,301	55 / 11,889	Yes	Vol.23, No.4
9	Miyagi P.*	Jul. 24-Aug. 5	Person to person	Nursery school ^{d)}	O26:H11	VT1	12	...	21 / 167	Yes	Vol.23, No.12
10	Iwate P.*	July	Unknown	University	O26:HNT	VT1	N.D.	N.D.	23 / N.D.		
11	Utsunomiya C.*	Aug. 2-12	Foodborne ^{c)}	Hospital and home for the aged	O157:H7	VT1&2	123	876	111 / 1,521	Yes	Vol.23, No.12
12	Himeji C.*	Aug. 12-20	Person to person	Home for the aged	O157:H7	VT1&2	N.D.	...	13 / 274		Vol.23, No.12
13	Saga P.*	Aug. 13-Sep. 4	Person to person	Nursery school	O26:HUT	VT1	6	...	10 / 111	Yes	Vol.23, No.11
14	Sakai C.*	Aug. 14-Sep. 6	Unknown	Nursery school ^{d)}	O26:H11	VT1	13	N.D.	23 / 153	Yes	Vol.23, No.12
15	Saga P.*	Aug. 15-19	Person to person	Nursery school	O157:H7	VT2	6	...	10 / 152	Yes	Vol.23, No.11
16	Ishikawa P.*	Sep. 12-26	Person to person	Nursery school	O157:H7	VT1&2	18	...	36 / 607	Yes	Vol.23, No.12
17	Tochigi P.*	Sep. 24-24	Unknown	Primary school	O157:H7	VT2	5	N.D.	10 / 666		p.134 of this issue

P.: Prefecture, C.: City, NT: Not typed, UT: Untypable, N.D.: No data ... No information was entered because person to person infection was suspected.

Incidents including 10 or more EHEC-positive cases and carriers each are listed.

*Data based on the outbreak reports from public health institutes received before April 25, 2003 and references in IASR and supplemented by the Department of Food Sanitation, the Ministry of Health, Labour and Welfare.

**Including cases in six prefectures in Kansai area (Data from the Pulse Net Japan, Department of Bacteriology I, National Institute of Infectious Diseases)

^{a)} EHEC was isolated from stocked beef in chain restaurants and a meat center of a company (Jpn. J. Infect. Dis., Vol. 55, p. 91-92, 2002)

^{b)} EHEC was isolated from lightly salted cucumbers. ^{c)} EHEC was isolated from "Koumi-ae", boiled spinach and steamed chicken white meat seasoned with Welsh onion, ginger and soy sauce. ^{d)} Paddling pools were suspected to be the place of infection.

The statistics in this report are based on 1) the data concerning patients and laboratory findings obtained by the National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases undertaken in compliance with the Law concerning the Prevention of Infectious Diseases and Medical Care for Patients of Infections, and 2) other data covering various aspects of infectious diseases. The prefectural and municipal health centers and public health institutes (PHIs), the Department of Food Sanitation, the Ministry of Health, Labour and Welfare, quarantine stations, and the Research Group for Infectious Enteric Diseases, Japan, have provided the above data.

Infectious Disease Surveillance Center, National Institute of Infectious Diseases

Toyama 1-23-1, Shinjuku-ku, Tokyo 162-8640, JAPAN Fax (+81-3)5285-1177, Tel (+81-3)5285-1111, E-mail iasr-c@nih.go.jp